

委員会報告 [J-CIP委員会]



片山 佳代子 JACR監事

群馬大学 情報学部

猿木 信裕	群馬県衛生環境研究所	寺本 典弘	四国がんセンター
松坂 方士	弘前大学医学部附属病院	中田 佳世	大阪国際がんセンター
伊藤 秀美	愛知県がんセンター	阪口 昌彦	大阪電気通信大学
伊藤 ゆり	大阪医科薬科大学		

J-CIP委員会はこの度、2022年度実施の東京都中央区社会貢献活動事業に応募し、『区民への「正しいがん情報」を発信するための「がん情報サイト」制作事業』に無事採択・認定を受けることとなりました。このご縁は伊藤ゆり先生から繋いでいただいた中央区協働ステーションの杉原志保様の支援を受け、JACRの事務局とミーティングを重ね勝ち取ったものです。中央区では、がん登録情報発信の事業に関しては初めての試みであるため、関心を寄せられたと聞いています。J-CIPプロジェクトの目的の1つ



収録風景(中央区協働ステーション)

でもある地域に密着したがん情報の発信ということを鑑み、東京都の田淵先生のお力もお借りしながらがん登録データの活用を通じて区民のよりよい生活を実現するための一歩としたいと考えています。➤

この中央区の活動の一環として、中央区内のケーブルテレビの番組見本市「つながりマルシェVol.6」にJACRならびにJ-CIPの活動紹介をさせていただく機会をいただき、2021年11月17日伊藤ゆり先生と片山で出演・PRの収録を行ってきました。YouTubeで視聴可能になりましたら改めてお知らせ致します。ぜひ多くの方にJACRならびにJ-CIPの活動について知っていただく機会になればと考えています。

また、全がん連理事のおひとりである桜井なおみさんらが発起人となって2021年9月に「がんネットワーク東京」が設立され、『がんになっても安心して暮らせる東京都』を目指し、予防・啓発、検診から治療、社会生活(情報・教育・就学・就労・育児・介護など)に関わる課題の解決に取り組まれています。我々J-CIPの活動目的とも合致することから、今後、情報共有・連携していけたらと考えています。

委員会報告 [インフォマティクス委員会]



田淵 健 JACR理事

東京都立駒込病院

猿木 信裕	群馬県衛生環境研究所	森島 敏隆	大阪国際がんセンター
三上 春夫	千葉県がんセンター	阪口 昌彦	大阪電気通信大学
松坂 方士	弘前大学医学部附属病院		

インフォマティクス委員会は、2020年度に発足した新しい委員会です。現時点でのメンバーは、本委員会のメンバーは、上記一覧にありますように理事長の猿木先生、理事の三上先生、松坂先生、専門委員の阪口先生、森島先生と私です。

インフォマティクス(Informatics)という用語は、情報システムや情報処理を包含する幅広く情報科学をさすと考えられています。特に、がん登録インフォマティクスと言った場合、がん登録情報の管理やデータ処理、がん登録情報の集約・統計に関する体系的な考え方などを追究する分野と言えますが、このこと自体はがん登録そのものを指すと言っても過言ではありませんので、コンピュータ処理の側面に力点を置いた言葉と言えるでしょう。

日本がん登録協議会(前身の地域がん登録協議会)において、がん登録インフォマティクスの考え方を力説されたのは、当協議会理事で、第20回学術集会(2011年)大会長を務められた➤

三上 春夫先生(千葉県がんセンター)です。三上先生の大きな業績の一つにKapWebの開発があり、WEBによるがん情報の発信を早期から提唱されてきました。また、三上先生は、がん登録の情報収集、処理、照合・集約等の各段階において、様々な実践を行い、日本におけるがん登録システムに強く影響を与えた一人です。

三上先生には、東京都が地域がん登録事業を開始した2012年に、駒込病院にて「第1回がん登録インフォマティクス研究会」を開催していただきました。それ以降数年に1回のペースで研究会活動が行われてきました。この様な経緯から2020年には日本がん登録協議会の委員会活動に取り込まれました。これを受けて、2021年の第30回学術集会のテーマは「がん登録を支える技術」とし、「インフォマティクス委員会企画」特集の形をとった次第です。今後、がん登録実務者はもとより、データを活用する皆様やベンダーの力を結集して、がん登録の手法が統計基盤となっていくような活動をしていきたいと考えています。